

平成27年度

学校要覧



…誇れる小原木小学校の持続・発展



気仙沼市立小原木小学校

〒988-0512 気仙沼市唐桑町岩井沢97-3

TEL 0226-34-3201

FAX 0226-34-3281

koharagi-sho@kesenuma.ed.jp

<http://www.kesenuma.ed.jp/koharagi-syou/>

学校教育目標

豊かな心で学び合い、健康でたくましく生きる児童の育成

明るい未来に向かって学校生活を送れるように、すべての教育活動において、子どもたちに「自他のよさに気づきながら、よりよい人間関係や生き方を求め、夢や希望をもって、将来を創り出そうとする意欲や態度」を育成します。



こころ

やさしく

思いやりのある子ども

互いのよさを認め合う教育活動



まなび

かしこく

進んで学び合う子ども

分かる授業の推進と家庭学習の充実



からだ

たくましく

進んで運動に親しむ子ども

運動に親しむ活動の充実による運動能力の向上・健康で安全な生活の推進

◆連携・道徳教育推進

- ・教師と児童，児童と児童の人間関係を深め，健やかな心の成長を促します。
- ・家庭や地域と連携し，地域の素材・人材，特性を生かした教育活動を展開します。
- ・豊かな体験活動を通じた道徳教育を推進します。

◆校内生徒指導体制

- ・全職員の相互協力によって，問題行動の未然防止，早期発見，早期対応を目指します。

★「はらっこ5」の推進

小原木小学校の基本的態度の指針として取り組むべき約束とマナーを家庭と連携して身に付けさせます。



小原木小学校 「はらっこ5（ファイブ）」

- あいさつは進んで 自ら 誰にでも
- ハッキリ・大きく・返事は「ハイ！」
- 感謝の気持ちで「ありがとう」
- 素直な気持ちで「ごめんなさい」
- いやがることは「しない・言わない」相手の気持ちを考えよう

◆志教育・ESDの推進

- ・志教育の充実を目指した小中の連携強化 ・教科や道徳等との関連を明確にした実践
- ・地域との連携を充実させた体験活動等の工夫と推進

◆家庭・地域・関係機関等との連携強化

- ・地域のよさを味わわせる教育活動の積極的な実施 ・地域の人材活用や関係機関等との連携を図った学習の推進
- ・学校支援協力者等との積極的な連携と効果的な活用 ・教育活動の積極的な公開 ・学校評価システムの改善

◆学習指導

- ・基礎基本の定着
「分かった・できた」が自覚できる授業づくりを推進し，自己教育力の育成のため，常に指導法を工夫改善します。
- ・読解力・表現力向上
「読む・書く・話す」場の設定と指導の充実を図ります。
- ・問題解決的な学習と体験学習の充実
互いのよさを認め高め合う集団での学び合いを推進します。
- ・パワーアップタイムとスキルタイムの充実
補充・発展的学習を充実させます。

◆家庭学習の習慣化

- ・一人一人に応じた家庭学習の内容を工夫して学習習慣の確立を目指します。
- ・暗唱・漢字・ことわざ等，「覚える力」を重視し，習熟を図ります。

◆読書活動の推進と読書の習慣化

学校図書館や市立図書館を積極的に活用します。



◆体力の向上

- ・教科体育や体育的行事などの指導や日常での運動習慣の向上を図り，体力の向上を図ります。

◆保健教育

- ・日常的な指導で「いのちを大切にする子ども」を育てます。

◆安全・防災

- ・自然災害及び不審者に対する安全確保の整備と訓練の充実を図ります。
- ・日常的に学校安全の指導を推進します。
- ・登下校時の事故防止と交通安全指導を徹底し，安全に関する自己管理能力を育成します。

◆食育

- ・栄養士と連携し，学校給食指導の充実を図ります。
- ・家庭と連携し，健康な生活に必要な生活習慣の確立を推進します。



地震が来たら津波に警戒

～グラッときたら高台へ

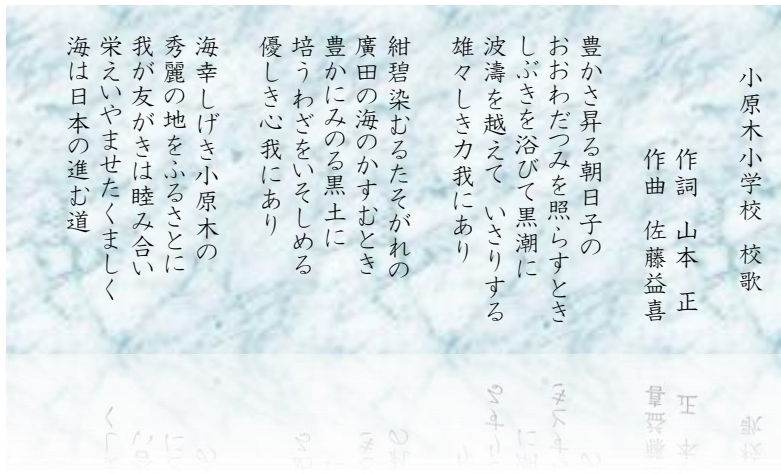
- ①家族間で避難所を決めておく
- ②安全避難の目安は「海拔30m」
- ③警報解除までお子さんは学校で預かります。
- ④緊急時は体育館が一時避難所

○地域とともに

- 学校評価を生かした学校経営
- 地域連携型防災教育推進

職員一覧

1	校長	菅原義之	1年目
2	教頭	熊谷賢治	2年目
3	教務	伊藤英樹	6年目
4	1年生	菅野千恵	1年目
5	2年生	千葉麻利子	8年目
6	3・4年生	菊地丈夫	3年目
7	5年生	宮崎健一	1年目
8	6年生	小松美奈子	7年目
9	養護	佐藤江莉	2年目
10	主事	足利沙季	2年目
11	栄養士	小山志織	1年目
12	用務	玉川美保子	3年目
13	支援員	岡崎真弓	1年目



小原木小学校 校歌

作詞 山本正
作曲 佐藤益喜

豊かさ昇る朝日子の
おわたつみを照らすとき
しづきを浴びて黒潮に
波濤を越えて いさりする
雄々しき力我にあり

紺碧染むるたそがれの
廣田の海のかすむとき
豊かにみゆる黒土に
培うわざをいそしめる
優しき心我にあり

海幸しげき小原木の
秀麗の地をふるさとに
我が友がきは睡み合い
栄えいやませたくましく
海は日本の進む道

平成27年度 児童数

(4月1日現在) (人)

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
児童数	3	7	4	6	7	6	33

学校の沿革

明治	6 19 22 25 29	第5番公立小原木小学校を洪龍寺の一部に開く 村立小原木尋常小学校と改称 唐桑尋常小学校小原木分教場 小原木尋常小学校となる 三陸大津波により、児童44名を失う	平成	18 19 20 22 23	気仙沼市立小原木小学校と改称 防災マップ発表会 ASIMO先生「なるほどエネルギー教室」実施 絵本作家なかがわちひろ氏による読書指導を受ける。 健康な口腔とよい歯の学校表彰30年間連続受賞 東日本大震災 只越、大沢が壊滅的被害。 全校児童無事。児童67名中、21名全壊7名の家が半壊。 2週間遅れの4月21日に平成23年度が始まる。 全国各地、世界各国から見舞いと応援メッセージ、支援物資、 義捐金が届けられる(のべ140余)。 「お礼と感謝の文集」を全国各地の支援者に送付 「国土と交通に関する図画コンクール」国土交通大臣賞受賞 支援者との交流活動が積極的に行われる。 (年間33団体個人、支援者総数のべ173名)
大正	11	校舎新築移転(現在地)大正10.2竣工		24	学生ボランティア2名が1年間学習支援ボランティアとして活躍。ボランティアが作詞し、群馬県在住のシンガーソングライターのRicoさんが作曲。愛唱歌となる。 「お礼と感謝の文集第2集」を全国各地の支援者に送付 25年度卒業生が作詞し、理子さんが作曲した「一緒」を卒業式で発表。 「お礼と感謝の文集第3集」を全国各地の支援者に送付
昭和	8 16 22 30 37 39 44 48 49 56 58 61	昭和三陸大津波により、大沢、只越地区に甚大な被害。児童2名を失う。 小原木国民学校と改称 唐桑村立小原木小学校と改称 校歌制定 唐桑町立小原木小学校と改称 校章改訂 鉄筋校舎落成 社会科公開研究会 補食給食開始 プール完成落成 開校百周年記念式・祝賀会開催 体育館完成 へき地教育公開研究会(学校保健) 全日本「よい歯の学校」表彰 県児童オリンピック大会走り幅跳び優勝 福祉教育普及及び公開研究会 父母教師会 県PTA連合会長賞受賞		25 26	秋田県大仙市立中仙小・清水小来校 6年生と交流(7/15) 唐桑地区球技大会大沢館連合チーム優勝(7/20) 「めざまし土曜日」児童が描いた絵がプロジェクションマッピングに(気仙沼みなとまつり)(8/3) 学校歯科保健功労表彰入賞・学校奨励賞(11/1) 福岡県大牟田市立上内小学校職員8名来校(11/22)
平成	元 3 12 15	父母教師会 交通安全県民大会で県知事賞受賞 県「歯科保健優良校」受賞 心をはぐくむ教育活動実践発表会 小中学校合同運動会開始			

主な年間行事予定

月	主な行事	月	主な行事
4	1学期始業式 入学式 学習参観 PTA総会 防犯教室 1年生を迎える会	11	持久走大会 避難訓練
5	運動会 プール清掃	12	学習参観 2学期終業式
6	市内体育祭 プール開き 修学旅行 親子防災教室	1	3学期始業式 席書大会 CRT学力テスト
7	学習参観 1学期終業式	2	中学校見学会 学習参観 新入学児童保護者説明会
8	2学期始業式	3	6年生を送る会 卒業式 修了式
9	開校記念日 祖父母参観日 野外活動 遠足 無事カエル作戦		
10	学芸会 市内音楽祭		

